

## 飯田の「降雪の深さ」の観測方法を変更します

— 平成 18 (2006) 年 10 月から —

飯田では、新たに降り積もる雪の深さ（以後、「降雪の深さ」）について、これまで「雪板」を用いて 1 日 3 回観測してきましたが、積雪計の設置に伴い、平成 18 年 10 月以降の冬期から、積雪計により観測する方法に変更します。

### 積雪計による「降雪の深さ」の観測について

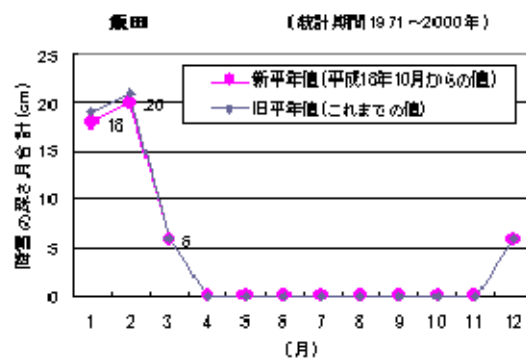
平成 17 年 10 月より、積雪計を備える気象官署では、「降雪の深さ」を積雪計により観測しています。毎時の「降雪の深さ」はその時刻の積雪の値と 1 時間前の積雪の値との差（1 時間積雪差）になります。ただし、1 時間積雪差が 0 または負となるときは、記号「-」で表記します。6 時間、24 時間など一定期間に降り積もった「降雪の深さ」を求めるときには、毎時の「降雪の深さ」を積算して求めます。積算するデータに「-」が含まれる場合は、その時刻の値は 0 cm として扱います。

### 観測方法の変更にとともなう利用上の注意

雪板による観測結果と積雪計による観測結果は、互いに相関が良いものの、月合計値など一定期間の観測値を集計して比較すると、系統的な差が見られることがあります。このため、平年値や階級区分値を、積雪計による観測に合わせたものに変更しています。飯田についても、積雪計による観測に合わせた平年値に変更します。

新しい平年値は、気象庁ホームページ（気象統計情報／電子閲覧室）で閲覧できるほか、気象庁月報 7 月号（10 月下旬に刊行予定）に収録します。積雪計により観測した「降雪の深さ」を平年と比較する場合には、変更した平年値を用いるようにしてください。

気象庁ホームページ： <http://www.jma.go.jp>



飯田の新旧平年値の比較